

日本語

バージョンアップ情報

V1.45 で更新される主な機能

デマンドコンバーターボックス CBK-DCB01 に対応

デマンドコンバーターボックス CBK-DCB01 (別売) を介し、市販のフォーカスデマンドやズームデマンドからのフォーカス/ズーム操作が可能になりました。

- 対応可能なデマンド
 - Canon 製フォーカスデマンド FR-35 相当、ズームデマンド ZSD-15M II
 - FUJIFILM 製フォーカスデマンド EPD-21A-A01、ズームデマンド ERD-20A-A02
- CBK-DCB01 に接続したデマンドの REC スイッチから記録開始/停止も操作可能
- CBK-DCB01 にはソニー製リモートコントロールユニット RM-B170、RM-B750 も接続可能

制限事項

- CBK-DCB01 接続時は、電動ズームレンズ SCL-Z18X140 の PUSH AF ボタンや FOCUS AUTO/MANUAL 切り換えスイッチの操作、本機のアサインボタンからのズーム操作はできません。
- CBK-DCB01 にリモートコントロールユニットが接続されているときは、上記の制限事項に加え、本機の下記スイッチ類は無効になります。
 - GAIN スイッチ、WHITE BALANCE スイッチ、AUTO WHT BAL ボタン、SHUTTER スイッチ、BARS/CAM ボタン
- 詳しくは、CBK-DCB01 に付属の取扱説明書をご覧ください。

V1.4 で更新される主な機能

使用可能メディア

XQD メモリーカードシリーズに対応 (XQD ExpressCard アダプター QDA-EX1 使用)

制限事項

- 本機で記録されたメディアは、本機で修復してください。本機以外で記録されたメディアや、本機と同一機種であってもバージョンが異なる機器で記録されたメディアは、本機では修復できない場合があります。
- 高速再生を行う場合、正しく動作しないことがあります。
- スロー&クイックモーション撮影のスローモーション撮影はできません。
- すべての XQD メモリーカードの動作を保証するものではありません。動作確認済みのメモリーに関してはお買い上げ店にお問い合わせください。

RM-B170

リモートコントロールユニット RM-B170 に対応しました。

Synchro Rec

スロー&クイックモーション記録時に Dual-Link 出力の同期記録が可能になりました。さらに、通常記録時およびスロー&クイックモーション記録時に、同期記録に加え、クリップ名を合わせることが可能になりました。(Synchro Rec と Dual-Link 出力信号に対応した記録機器が必要です。)

- VIDEO SET メニューの Match Clip Name で、クリップ名合わせの On/Off を選択可能

制限事項

記録機器側のクリップ名制限により、クリップ名が合わないことがあります。クリップ名は、ASCII の英数字 4 文字以上で設定してください。(スペースや記号は使えません。)

ガンマ設定

ビデオガンマモード時に、ピクチャープロファイル設定の1つとして、S-Log ガンマの選択ができるようになりました。

- P. PROFILE の SET メニューで、Gamma > Select から S-Log を選択可能

制限事項

P.PROFILE の SET メニューで S-Log を選択したときは、VIDEO SET メニューの S-Log LUT を On にしていても、選択されている MLUT や EI MLUT を使用できません。

アサインブル操作

ASSIGN 1、2 ボタン、または ASSIGN 6、7 ボタンにズームテレ・ワイド操作の割り当てが可能になりました。

- OTHERS メニューの Assign Button <1> または <6> で、Zoom Tele、Zoom Wide を選択可能

オプションのインストール設定

オプションの CBK-RGB01、または CBK-3DL01 をインストールするときのパスワードに、アルファベットや記号も設定できるようになりました。

電動ズームレンズ

電動ズームレンズ装着時に、ズームの可動範囲を設定できるようになりました。(別売の電動ズームレンズ SCL-Z18X140 が必要です。)

- CAMERA SET メニューの Zoom Limit で、リテーナーの有無を考慮に入れた可動範囲 (リミッター) を選択可能
- リミッターを設定しているときには、LCD モニター / ビューファインダーのズームポジション表示にその状態を表示

V1.31 で更新される主な機能

3D-Link

3D-Link と電動ズームレンズを活用した 3D 撮影が可能になりました。(別売の 3D-Link Option CBK-3DL01 と 3D-Link ケーブル、電動ズームレンズ SCL-Z18X140 が必要です。)

- Main 機と Sub 機のレンズポジション (ズーム、アイリス、フォーカス) の連動が可能
 - また、連動モードは、常時連動または一時的連動が可能
- レンズ連動時に 2 台間のアイリスのオフセット調整が可能

制限事項

- レンズポジションの同期後も、Main 機と Sub 機のレンズ状態 (ズーム、アイリスなど) のステータス表示が合わないことがあります。
- OTHERS メニューの 3D-Link の Iris Position Sync、Focus Position Sync、Zoom Position Sync が On になっている (常時連動) と、その項目が割り当てられたアサインボタンを押しても、連動しません。一時的に連動させたい場合は、Off に設定してください。
- 本機の連動機能は、同位相で同期して連動することを保証するものではありません。

S-Log

S-Log422 撮影が可能になりました。(別売の RGB&S-LOG Output Option CBK-RGB01 が必要です。)

- VIDEO SET メニューの Dual-Link & Gamma Select で、1.5G YPbPr422 & S-Log と 3G YPbPr422 & S-Log を選択可能

Synchro Rec

通常記録時に Dual-Link 出力の同期記録が可能になりました。(Synchro Rec と Dual-Link 出力信号に対応した記録機器が必要です。)

- SDI Rec Control メニューで、Synchro Rec を選択可能

制限事項

i.LINK 出力時やピクチャーキャッシュレック時、または再生時（レックレビュー、サムネイル表示中を含む）に Synchro Rec を開始すると、同期が合わなかったり、映像の乱れが記録されることがあります。

広角マニュアルズームレンズ対応

(別売の広角ズームレンズ SCL-P11X15 が必要です。) レンズ状態のステータス表示が可能となりました。

MF Assist 設定

CAMERA SET メニューの MF Assist の初期設定値を Off に変更しました。

V1.2 で更新される主な機能

3D-Link

3D-Link を活用した 3D 撮影が可能になりました。(別売の 3D-Link Option CBK-3DL01 と 3D-Link ケーブルが必要です。)

- Genlock/TC 同期が可能
- 記録操作の連動が可能
- カメラ設定のコピーが可能 (Main 機から Sub 機へコピー)
- 特殊記録 (インターバルレック、フレームレック、スロー & クイックモーション) が可能
- 2 台の同期レックレビューが可能
- 2 台間の感度のばらつきを押さえるために ND フィルターごとに撮像感度の調整が可能

S-Log EI モード

MLUT ゲインの調整による S-Log 撮影が可能になりました。(別売の RGB&S-LOG Output Option CBK-RGB01 が必要です。)

- 800EI (0 dB 相当) ~ 3200EI (12dB 相当) のゲイン調整が可能
- MLUT の On/Off をアサインボタンに割り当て、ワンタッチで切り替えが可能

電動ズームレンズ

電動ズームレンズに対応し、様々なレンズ操作を駆使した撮影が可能になりました。(別売の電動ズームレンズ SCL-Z18X140 が必要です。)

- PMW-F3 の電動ズームレバーやアサインボタン、赤外線リモートコマンダー (付属) によるズーム操作が可能
- オートフォーカスが可能
- オートアイリスが可能
- リモートコントロールユニットなどの外部コントロール機器 (PMW-F3 に付属のサブリメント参照) によるアイリス操作が可能
- レンズ状態 (ズーム、フォーカス、アイリスなど) のステータス表示が可能
- 手ぶれ補正が可能

ARRI 型コネクタ付きレンズ

レンズ状態 (アイリス) のステータス表示が可能になりました。(取扱説明書の「レンズを取り付ける」の項を参照)

プリセットホワイト調整

下記の調整が可能になりました。

- S-Log 出力のプリセットホワイト調整が可能 (別売の RGB&S-LOG Output Option CBK-RGB01 が必要です。)
- プリセットホワイト (3200K) のオフセット調整 (R/B チャンネル) が可能

メニュースクロール

メニューの循環スクロールが追加され、従来のスクロール方式と合わせて選択が可能になりました。

その他のステータス表示

下記の表示が可能になりました。

- Rec 2 表示の表示/非表示の選択が可能

MLUT データ

従来のカメラデータに MLUT データを追加し、カメラ設定と MLUT データの一括保存と読み出しが可能になりました。(別売の RGB&S-LOG Output Option CBK-RGB01 が必要です。)

ヒストグラム表示

ビューファインダーのヒストグラムが縦方向に縮小されて表示されていましたが、改善しました。

V1.1 で更新される主な機能

クリップ名

任意文字で表示できるようになりました (MP4/AVI)。

プランニングメタデータ

プランニングメタデータを使用した撮影が可能になりました。

- メモリーカードスロットに挿入した記録メディアからプランニングメタデータを読み込み可能
- 読み込むプランニングメタデータを選択可能
- プランニングメタデータで定義されたクリップ名を設定可能
- 英語以外の言語のクリップ名を設定可能
- 付加できるショットマークの数を拡張
- 英語以外の言語のショットマーク名を設定可能
- 撮影情報をプランニングメタデータへ反映可能
- プランニングメタデータの情報を閲覧可能

HD SDI A/B (デュアルリンク) 端子

- ビデオフォーマットが HQ 1920/59.94i と HQ 1920/50i の以外の場合、1.5G YPbPr422 & Video 出力に対応
- 1.5G RGB444 & Video、1.5G RGB444 & S-Log、3G RGB444 & Video、3G RGB444 & S-Log、3G YPbPr422 & Video 出力に対応 (別売の RGB&S-LOG Output Option CBK-RGB01 が必要です。)

S-Log ガンマと MLUT (モニタールックアップテーブル)

デュアルリンク出力に RGB444 を選択したとき、S-Log ガンマと MLUT が使用可能 (別売の RGB&S-LOG Output Option CBK-RGB01 が必要です。)

TC OUT

TC OUT 端子から出力されるタイムコードに対し、Auto と Generator を選択可能

SDI OUT 端子と HDMI OUT 端子

SDI 信号と HDMI 信号の同時出力に対応し、SDI/HDMI/i.LINK I/O Select の設定で HD SDI & HDMI または SD SDI & HDMI i を選択可能

S&Q ダイヤル

S&Q ダイヤルでジヨグ操作が可能

サムネイル操作

サムネイル表示時に縦方向へのカーソル移動が可能

LCD/EFV 画質調整

アサインボタンに LCD/VF Adjust を割り当てると、アサインボタンとジョグダイヤルの操作により、レベルバー表示を切り換えながら LCD モニターとビューファインダー画面の Contrast、Brightness 調整が可能

ビデオステータス表示

デュアルリンク出力フォーマットをビデオステータス画面に表示

ピクチャーキャッシュレック

i.LINK 出力時にピクチャーキャッシュモードで記録を行うと（ピクチャーキャッシュ時間:13-15sec）、メモリーに蓄積された部分（キャッシュデータ）が記録されない場合がありますが、改善しました。

SDI/HDMI/i.LINK I/O Select

SDI/HDMI/i.LINK I/O Select 設定を HD SDI → SD SDI → SD HDMI i の順に切り換えると HDMI 信号が出力されない場合がありますが、改善しました。

Version Up

i.LINK 入力時に Version Up を行うと、実行中メッセージとメニューが同時に表示される場合がありますが、改善しました。

Skin Tone Detail

DISPLAY/BATT INFO ボタンを押したときに Area Detection の検出枠が消えることがありますが、改善しました。

CBK-WA01 との接続

本機に Wi-Fi アダプター CBK-WA01 (別売品) を取り付けると、コンピューターで作成したプランニングメタデータを本機に転送し、クリップ名やショットマークを指定した撮影が可能になります。(別売の RGB&S-LOG Output Option CBK-RGB01 が必要です。)

制限事項

起動直後に記録を開始すると、記録開始がプランニングメタデータの反映より優先されるため、プランニングメタデータを読み込んでいても記録に反映されないことがあります。

English

Release Note

Major functions updated with V1.45

CBK-DCB01 Demand Converter Box

Focus/zoom operation from commercially available focus demand/zoom demand devices is available through the CBK-DCB01 Demand Converter Box (optional).

- Supported demand devices
Canon Focus Demand FR-35 or equivalent, Zoom Demand ZSD-15M II
FUJIFILM Focus Demand EPD-21A-A01, Zoom Demand ERD-20A-A02
- Recording start/stop is also possible with the REC switch on the demand device connected to the CBK-DCB01.
- Sony RM-B170 or RM-B750 Remote Control Unit can be connected to the CBK-DCB01.

Restrictions

- When the CBK-DCB01 is connected to the camcorder, the operation of the PUSH AF button and FOCUS AUTO/MANUAL switch on the SCL-Z18X140 power zoom lens, and zoom operation with assignable buttons on this camcorder are not possible.
- In addition to the above restriction, the following controls on the camcorder become inoperative when a remote control unit is connected to the CBK-DCB01: GAIN switch, WHITE BALANCE

switch, AUTO WHT BAL button, SHUTTER switch and BARS/CAM button.

- For details, refer to the Operating Instructions supplied with the CBK-DCB01.

Major functions updated with V1.4

Usable media

XQD memory card series added (with XQD ExpressCard Adapter QDA-EX1)

Restrictions

- For restoration of media recorded with this unit, be sure to use this unit. Media recorded with a device other than this unit or with another unit of different version (even of the same model) may not be restored using this unit.
- High-speed playback may not be properly achieved.
- Slow Motion recording by the Slow & Quick Motion recording function cannot be made.
- Not all XQD memory cards are guaranteed to work with this camcorder. For compatible memory cards, contact your Sony dealer.

RM-B170

The unit supports the remote control unit RM-B170.

Synchro Rec (synchronized recording)

Synchronized recording via Dual-Link output is enabled for Slow & Quick Motion recording. In addition to synchronization of recording, the clip name can be matched for either normal or Slow & Quick Motion recording. (A recording device supporting Synchro Rec and Dual-Link output signals is required.)

- A clip name matching On/Off selectable under Match Clip Name of the VIDEO SET menu

Restrictions

A clip name may not be matched, depending on clip-name restriction of the connected recording device. Specify a clip name of more than 4 characters, using alphabets and numerics in ASCII format. (Spaces and symbols are not allowed.)

Gamma setting

S-Log gamma selection becomes available in Video Gamma mode as one of the picture profile settings.

- S-Log option available under Select of Gamma of the P. PROFILE SET menu

Restrictions

When S-Log is selected on the PPROFILE SET menu, the selected MLUT or EI MLUT is disabled, even if S-Log LUT of the VIDEO SET menu is set to On.

Assignable operations

Zoom Tele and Zoom Wide operations can be assigned to the ASSIGN 1 and 2 buttons or the ASSIGN 6 and 7 buttons.

- Zoom Tele and Zoom Wide options available under Assign Button <1> or <6> of the OTHER menu

Setting for installation of an option

Use of alphabets and symbols is added for specifying a password when installing the option CBK-RGB01 or CBK-3DL01.

Power zoom lens

The operation range of servo zoom can be limited when the power zoom lens is attached (optional SCL-Z18X140 power zoom lens is required).

- Operational range of servo zoom (limiter) selectable, depending on whether a retainer is attached to the lens or not, under Zoom Limit of the CAMERA SET menu

- Limiter status displayed for the zoom position indication on the LCD monitor/viewfinder screen

Major functions updated with V1.31

3D-Link

3D shooting with 3D-Link and a power zoom lens is enabled (optional CBK-3DL01 3D-Link Option, 3D-Link cable, and SCL-Z18X140 power zoom lens are required):

- Linking function of the lens position (zoom, iris, and focus) on the main unit and sub unit, either constant linking or temporary linking enabled
- Iris offset adjustable when the lenses on both units are linked to move in sync

Restrictions

- Status indication of the lens condition (zoom, iris, etc.) on the main unit and that on the sub unit may not be the same even after the lens positions on both units have been synchronized.
- If Iris Position Sync, Focus Position Sync, or Zoom Position Sync under 3D-Link of the OTHERS menu is set to On for constant linking, pressing the assignable button to which the corresponding linking function is assigned does not activate temporary linking. Set the constant linking function to Off for activating the temporary linking.
- The linking function of this unit does not guarantee synchronizing in the same phase.

S-Log

S-Log422 shooting is enabled (optional CBK-RGB01 RGB&S-LOG Output Option is required):

- 1.5G YPbPr422 & S-Log and 3G YPbPr422 & S-Log options available under Dual-Link & Gamma Select of the VIDEO SET menu

Synchro Rec (synchronized recording)

Synchronized recording via Dual-Link output enabled for normal recording (a recording device supporting Synchro Rec and Dual-Link output signals is required):

- Synchro Rec option under SDI Rec Control available

Restrictions

If Synchro Rec is started when the i.Link output or the Picture Cache Recording is active, or during playback (including Rec Review and thumbnail display), recording synchronization may not be achieved or distorted video recording may occur.

Wide-angle manual zoom lens

(An optional SCL-P11X15 wide-angle zoom lens is required.) Status indication to observe the lens condition is enabled.

MF Assist setting

The default setting for MF Assist of the CAMERA SET menu has been changed to Off.

Major functions updated with V1.2

3D-Link

3D shooting with 3D-Link is enabled (optional CBK-3DL01 3D-Link Option and 3D-Link cable is required):

- Genlock/TC sync
- Recording operation in synchronization
- Copying (from a main unit to a sub unit) of camera settings
- Special recording operations (Interval Recording, Frame Recording, Slow & Quick Motion Recording)
- Synchronized Rec Review on two camcorders
- Sensitivity adjustment independently for each ND filter to eliminate the difference between two units

S-Log EI mode

S-Log shooting by adjusting the MLUT gain is enabled (optional CBK-RGB01 RGB&S-LOG Output Option is required):

- Gain adjustment in the range of 800EI (equivalent to 0 dB) to 3200EI (equivalent to 12 dB)
- Instant switching of MLUT on/off by assigning the function to a button

Power zoom lens

Shooting with various effective lens operations using a power zoom lens is enabled (optional SCL-Z18X140 power zoom lens is required):

- Zoom operation using the servo zoom lever and assignable buttons on the PMW-F3 and the infrared remote commander (supplied)
- Auto focus operation
- Auto iris operation
- Iris operation from an external control device, such as a remote control unit (Refer to the Supplement supplied with the PMW-F3.)
- Status indication to observe the lens conditions (zoom, focus, iris, etc.)
- Steady Shot function

Lens with the ARRI connector

Status indication of the lens condition (iris) is enabled. (Refer to "Attaching a Lens" in the Operating Instructions.)

Preset White adjustments

The following adjustments are enabled:

- Preset white adjustment for S-Log outputs (Optional CBK-RGB01 RGB&S-LOG Output Option is required.)
- Offset adjustment (R/B channels) for preset white (3200K)

Menu scroll

In addition to the conventional scrolling method, cyclical scrolling is enabled for menu selection.

Other status indications

The following selections become available:

- On/off of the Rec 2 indication

MLUT data

Adding MLUT data to the conventional camera data, collective storage and readout of the camera settings and MLUT data are enabled (optional CBK-RGB01 RGB&S-LOG Output Option is required).

Histogram indication

Histogram indication (vertically reduced in the viewfinder with the previous versions) is improved.

Major functions updated with V1.1

Clip names

User-specified characters can be displayed (MP4/AVI).

Planning metadata

Shooting with planning metadata is possible.

- Planning metadata can be read from recording media inserted into a memory card slot.
- The planning metadata to be read can be selected.
- Clip names based on names defined in planning metadata can be specified.
- Clip names can be specified in languages other than English.
- More shot marks can be added.
- Shot mark names can be specified in languages other than English.
- Shooting information can be reflected in planning metadata.
- Information contained in planning metadata can be viewed.

HD SDI A/B (Dual-Link) connectors

- Output can be 1.5G YPbPr422 & Video signals if the video format is not set to HQ 1920/59.94i or HQ 1920/50i.
- Output can be 1.5G RGB444 & Video, 1.5G RGB444 & S-Log, 3G RGB444 & Video, 3G RGB444 & S-Log, and 3G YPbPr422 & Video signals. (Optional CBK-RGB01 RGB&S-LOG Output Option is required.)

S-Log gamma and MLUT (Monitor Look Up Table)

S-Log gamma and MLUT can be used when RGB444 is selected for Dual-Link output (optional) (Optional CBK-RGB01 RGB&S-LOG Output Option is required.)

TC OUT

Auto or Generator can be selected for the timecode to be output from the TC OUT connector.

SDI OUT connector and HDMI OUT connector

HD SDI & HDMI or SD SDI & HDMI i is selectable under SDI/HDMI/i.LINK I/O Select to support simultaneous output of both SDI and HDMI signals.

S&Q dial

The S&Q dial can be operated in the same manner as the jog dial.

Thumbnail operation

The cursor can be moved vertically on the thumbnail screen.

Adjusting the image on the LCD monitor/EVF screen

If LCD/VF Adjust is assigned to an assignable button, contrast and brightness of the LCD monitor/EVF screen can be adjusted by displaying the corresponding level bar and using the assignable button and the jog dial.

VIDEO status screen

Dual-Link output format is displayed on the VIDEO status screen.

Picture Cache Recording

When recording was performed in picture cache mode (picture cache time: 13 to 15 seconds) with i.LINK output, the cache data in memory was sometimes not recorded. That problem was corrected.

SDI/HDMI/i.LINK I/O Select

HDMI signals were sometimes not output when the SDI/HDMI/i.LINK I/O Select setting was switched in the order HD SDI, SD SDI to SD HDMI i. That problem was corrected.

Version Up

The in-progress message and the menu were sometimes displayed simultaneously if Version Up was being performed while an i.LINK signal is being fed in. That problem was corrected.

Skin Tone Detail

The Area Detection marker sometimes disappeared when the DISPLAY/BATT INFO button was pressed. That problem was corrected.

Connecting the CBK-WA01

Mounting an optional CBK-WA01 Wi-Fi Adapter on the camcorder allows sending planning metadata created on a computer to the camcorder, as well as setting of names of clips to shoot and shot marks for shooting. (Optional CBK-RGB01 RGB&S-LOG Output Option is required.)

Restrictions

If recording is started immediately after the unit starts, higher priority is given to starting to record than to reflecting planning metadata. For this reason, even when planning metadata is being read, it may sometimes not be reflected in the recording.

Français

Note de publication

Principales fonctions mises à jour avec la V1.45

Boîtier adaptateur sélecteur CBK-DCB01

La fonction de mise au point/zoom à partir de périphériques sélecteurs de mise au point/zoom disponibles dans le commerce est disponible via le boîtier adaptateur sélecteur CBK-DCB01 (en option).

- Périphériques sélecteurs pris en charge
Sélecteur de mise au point Canon FR-35 ou équivalent, sélecteur de zoom ZSD-15M II
Sélecteur de mise au point FUJIFILM EPD-21A-A01, sélecteur de zoom ERD-20A-A02
- Le démarrage/l'arrêt de l'enregistrement est également possible à l'aide de l'interrupteur REC sur le périphérique sélecteur connecté au CBK-DCB01.
- La télécommande Sony RM-B170 ou RM-B750 peut être connectée au CBK-DCB01.

Limitations

- Lorsque le CBK-DCB01 est connecté au caméscope, l'utilisation du bouton PUSH AF et de l'interrupteur FOCUS AUTO/MANUAL sur l'objectif de zoom motorisé SCL-Z18X140 et l'utilisation du zoom avec les boutons associés sur ce caméscope sont impossibles.
- Outre la restriction ci-dessus, les commandes suivantes sur le caméscope deviennent inopérantes lorsqu'une télécommande est connectée au CBK-DCB01: l'interrupteur GAIN, l'interrupteur WHITE BALANCE, le bouton AUTO WHT BAL, l'interrupteur SHUTTER et le bouton BARS/CAM.
- Pour plus de détails, consultez les consignes d'utilisation fournies avec le CBK-DCB01.

Principales fonctions mises à jour avec la V1.4

Supports compatibles

Ajout de séries de cartes mémoire XQD (avec l'adaptateur XQD ExpressCard QDA-EX1)

Limitations

- Veuillez à utiliser cet appareil pour restaurer un support enregistré sur celui-ci. Un support enregistré sur un autre appareil ou sur un appareil d'une autre version (même s'il s'agit du même modèle) risque de ne pas pouvoir être restauré à l'aide du présent appareil.
- La lecture à grande vitesse risque de ne pas être obtenue correctement.
- L'enregistrement ralenti avec la fonction Enregistrement ralenti et accéléré est impossible.
- Le fonctionnement de ce caméscope n'est pas garanti avec toutes les cartes mémoire XQD. Pour connaître les cartes mémoire compatibles, contactez votre revendeur Sony.

RM-B170

L'appareil prend en charge la télécommande RM-B170.

Synchro Rec (enregistrement synchronisé)

L'enregistrement synchronisé via la sortie Dual-Link est activé pour l'enregistrement ralenti et accéléré. En plus de la synchronisation de l'enregistrement, le nom de plan peut être harmonisé pour l'enregistrement ralenti et accéléré ou normal (un appareil d'enregistrement prenant en charge Synchro Rec et les signaux de sortie Dual-Link est requis).

- Un nom de plan correspondant peut être réglé sur On/Off sous Match Clip Name du menu VIDEO SET

Limitations

Il est possible qu'un nom de plan ne corresponde pas selon la limitation des noms de plan de l'appareil d'enregistrement connecté. Spécifiez un nom de plan composé de plus de 4 caractères alphanumériques et chiffres au format ASCII. (Les espaces et les symboles ne sont pas autorisés.)

Réglage du gamma

La sélection du gamma S-Log devient possible en mode Video Gamma comme l'un des réglages du profil d'image.

- Option S-Log disponible sous Select de Gamma du menu P.PROFILE SET

Limitations

Lorsque S-Log est sélectionné dans le menu P.PROFILE SET le MLUT ou EI MLUT sélectionné est désactivé, même si le S-Log LUT du menu VIDEO SET est réglé sur On.

Opérations assignables

Les opérations Zoom Tele et Zoom Wide peuvent être attribuées aux touches ASSIGN 1 et 2 ou aux touches ASSIGN 6 et 7.

- Options Zoom Tele et Zoom Wide disponibles sous Assign Button <1> ou <6> du menu OTHER

Réglage pour l'installation d'une option

L'usage de lettres de l'alphabet et de symboles est ajouté pour spécifier un mot de passe lors de l'installation de l'option CBK-RGB01 ou CBK-3DL01.

Objectif à zoom motorisé

La portée du servo zoom peut être limitée si l'objectif à zoom motorisé est fixé (objectif à zoom motorisé SCL-Z18X140 en option requis).

- La portée du servo zoom (limiteur) peut être sélectionnée selon qu'une retenue est fixée ou non à l'objectif, sous Zoom Limit du menu CAMERA SET
- L'état du limiteur s'affiche pour l'indication de position du zoom sur le moniteur LCD/l'écran du viseur

Principales fonctions mises à jour avec la V1.31

3D-Link

La prise de vue en 3D avec 3D-Link et un objectif à zoom motorisé est disponible (CBK-3DL01 3D-Link Option, câble 3D-Link et objectif à zoom motorisé SCL-Z18X140 en option requis) :

- Fonction de liaison de la position d'objectif (zoom, diaphragme et mise au point) sur l'unité principale et l'unité secondaire – liaison constante ou liaison temporaire – disponible
- Compensation de diaphragme réglable lorsque les objectifs des deux unités sont liés pour se déplacer en synchronisation

Limitations

- L'indication d'état de la condition de l'objectif (zoom, diaphragme, etc.) de l'unité principale et celle de l'unité secondaire risquent de ne pas être identiques, même une fois les positions d'objectif des deux unités synchronisées.
- Si Iris Position Sync, Focus Position Sync ou Zoom Position Sync sous 3D-Link du menu OTHERS est réglé sur On pour une liaison constante, appuyer sur le bouton affectable auquel la fonction de liaison correspondante est attribuée n'active pas la liaison temporaire. Réglez la fonction de liaison constante sur Off pour activer la liaison temporaire.
- La fonction de liaison de cet appareil ne garantit pas la synchronisation dans la même phase.

S-Log

La prise de vue S-Log422 est disponible (CBK-RGB01 RGB&S-LOG Output Option en option requis) :

- Options 1.5G YPbPr422 & S-Log et 3G YPbPr422 & S-Log disponibles sous Dual-Link & Gamma Select du menu VIDEO SET

Synchro Rec (enregistrement synchronisé)

Enregistrement synchronisé via la sortie Dual-Link disponible pour l'enregistrement normal (un appareil d'enregistrement prenant en charge Synchro Rec et les signaux de sortie Dual-Link est requis) :

- Option Synchro Rec sous SDI Rec Control disponible

Limitations

Si Synchro Rec est lancé lorsque la sortie i.Link ou l'enregistrement avec mise en mémoire cache des images est actif, ou durant la lecture (notamment l'affichage des miniatures et Rec Review), la synchronisation de l'enregistrement risque d'échouer ou un enregistrement vidéo déformé est possible.

Objectif avec zoom manuel grand angle

(Un objectif avec zoom grand angle SCL-P11X15 en option est requis.)

L'indication d'état pour observer la condition de l'objectif est disponible.

Réglage MF Assist

Le réglage par défaut de MF Assist du menu CAMERA SET a été remplacé par Off.

Principales fonctions mises à jour dans la V1.2

3D-Link

La prise de vue en 3D avec 3D-Link est disponible (CBK-3DL01 3D-Link Option en option et câble 3D-Link requis) :

- Genlock/Synchronisation TC
- Opération d'enregistrement en synchronisation
- Copie (d'une unité principale vers une unité secondaire) des paramètres de caméra
- Opérations d'enregistrement spéciales (Enregistrement à intervalles, Enregistrement cadre par cadre, Enregistrement ralenti et accéléré)
- Rec Review synchronisé sur deux caméscopes
- Réglage de sensibilité individuel pour chaque filtre ND afin d'éliminer la différence entre les deux unités

Mode S-Log EI

La prise de vue S-Log en réglant le gain de MLUT est disponible (CBK-RGB01 RGB&S-LOG Output Option en option requis) :

- Réglage du gain sur une plage de 800EI (équivalent à 0 dB) à 3200EI (équivalent à 12 dB)
- Activation/Désactivation instantanée de MLUT en assignant la fonction à une touche

Objectif à zoom motorisé

La prise de vue est disponible avec plusieurs opérations d'objectif efficaces à l'aide d'un objectif à zoom motorisé (un objectif à zoom motorisé SCL-Z18X140 en option est requis) :

- Opération de zoom à l'aide du sélecteur de servo zoom et des touches assignables sur le PMW-F3 et de la télécommande infrarouge (fournie)
- Opération de mise au point automatique
- Opération d'iris automatique
- Opération d'iris depuis un dispositif de commande externe, tel qu'une télécommande (reportez-vous au Supplément fourni avec le PMW-F3).

- Indication d'état pour observer l'état de l'objectif (zoom, mise au point, iris, etc.)
- Fonction Prise de vue stable

Objectif avec le connecteur ARRI

L'indication de l'état de l'objectif (iris) est disponible (reportez-vous à la section « Fixation d'un objectif » du Mode d'emploi).

Réglages de Preset White

Les réglages suivants sont disponibles :

- Réglage de blanc prédéfini pour les sorties S-Log (CBK-RGB01 RGB&S-LOG Output Option en option requis).
- Réglage Offset (canaux R/B) pour le blanc prédéfini (3200K)

Défilement du menu

Outre la méthode de défilement traditionnelle, le défilement cyclique est disponible pour la sélection de menu.

Autres indications d'état

Les sélections suivantes sont désormais disponibles :

- Activation/Désactivation de l'indication Rec 2

Données MLUT

L'ajout de données MLUT aux données de caméra traditionnelles, le stockage collectif et la lecture des paramètres de caméra et des données MLUT sont disponibles (CBK-RGB01 RGB&S-LOG Output Option en option requis).

Indication d'histogramme

L'indication d'histogramme (réduite verticalement dans le viseur avec les versions précédentes) est améliorée.

Principales fonctions mises à jour dans la V1.1

Noms de plans

Des caractères spécifiés par l'utilisateur peuvent être affichés (MP4/AVI).

Métadonnées de planification

La prise de vue avec des métadonnées de planification est possible.

- Les métadonnées de planification peuvent être lues à partir d'un support d'enregistrement inséré dans un logement pour carte mémoire.
- Les métadonnées de planification à lire peuvent être sélectionnées.
- Des noms de plans basés sur les noms spécifiés dans les métadonnées de planification peuvent être spécifiés.
- Les noms de plans peuvent être spécifiés dans des langues autres que l'anglais.
- Des repères de prise de vue supplémentaires peuvent être ajoutés.
- Les noms de repères de prise de vue peuvent être spécifiés dans des langues autres que l'anglais.
- Les informations de prise de vue peuvent être reprises dans les métadonnées de planification.
- Les informations contenues dans les métadonnées de planification peuvent être visualisées.

Connecteurs HD SDI A/B (Dual-Link)

- Des signaux 1.5G YPbPr422 & Video peuvent être émis si le format vidéo n'est pas réglé sur HQ 1920/59.94i ou HQ 1920/50i.
- Des signaux 1.5G RGB444 & Video, 1.5G RGB444 & S-Log, 3G RGB444 & Video, 3G RGB444 & S-Log et 3G YPbPr422 & Video peuvent être émis (CBK-RGB01 RGB&S-LOG Output Option en option requis).

Gamma S-Log et MLUT (Monitor Look Up Table - table de correspondance du moniteur)

Le gamma S-Log et le MLUT peuvent être utilisés lorsque RGB444 est sélectionné pour la sortie Dual-Link (CBK-RGB01 RGB&S-LOG Output Option en option requis).

TC OUT

Il est possible de sélectionner Auto ou Generator pour le code temporel qui sera émis par le connecteur TC OUT.

Connecteur SDI OUT et connecteur HDMI OUT

HD SDI & HDMI ou SD SDI & HDMI i est disponible sous SDI/HDMI/i.LINK I/O Select pour prendre en charge l'émission simultanée des deux signaux SDI et HDMI.

Commande S&Q

La commande S&Q s'utilise de la même manière que la commande rotative.

Utilisation des vignettes

Le curseur peut être déplacé verticalement sur l'écran des vignettes.

Réglage de l'image sur le moniteur LCD/l'écran EVF

Si LCD/VF Adjust est attribué à un bouton assignable, il est possible de régler le contraste et la luminosité offerts par le moniteur LCD/l'écran EVF en affichant la barre de niveau correspondante et en utilisant le bouton assignable et la commande rotative.

Ecran d'état VIDEO

Le format de sortie Dual-Link s'affiche sur l'écran d'état VIDEO.

Enregistrement de cache d'image

Lorsque l'enregistrement était effectué en mode de cache d'image (durée de cache d'image : 13 à 15 secondes) avec sortie i.LINK, les données de cache dans la mémoire n'étaient pas toujours enregistrées. Ce problème a été corrigé.

SDI/HDMI/i.LINK I/O Select

Parfois, les signaux HDMI n'étaient pas émis lorsque le réglage SDI/HDMI/i.LINK I/O Select basculait dans l'ordre HD SDI, SD SDI, puis SD HDMI i. Ce problème a été corrigé.

Version Up

Parfois, le message indiquant que l'opération était en cours et le menu s'affichaient simultanément si Version Up était exécuté pendant l'émission d'un signal i.LINK. Ce problème a été corrigé.

Skin Tone Detail

Parfois, le marqueur Area Detection disparaissait lors de la pression sur le bouton DISPLAY/BATT INFO. Ce problème a été corrigé.

Connexion du CBK-WA01

Monter sur le caméscope un adaptateur Wi-Fi CBK-WA01 en option permet d'envoyer au caméscope des métadonnées de planification créées sur un ordinateur, ainsi que de régler les noms de plan de prise de vue et des repères de prise de vue (CBK-RGB01 RGB&S-LOG Output Option en option requis).

Limitations

Si l'enregistrement est lancé immédiatement après le démarrage de l'appareil, ce dernier se charge en priorité du lancement de l'enregistrement plutôt que de l'application des métadonnées de planification. Pour cette raison, même lorsque des métadonnées de planification sont lues, elles ne sont pas toujours appliquées à l'enregistrement.

Deutsch

Freigabemitteilung

Aktualisierung wichtiger Funktionen in V1.45

Abfrage-Konverter-Box CBK-DCB01

Über die Abfrage-Konverter-Box CBK-DCB01 (optional erhältlich) ist ein Fokus-/Zoom-Betrieb für handelsübliche Fokus-Abfrage-/Zoom-Abfrage-Geräte verfügbar.

- Unterstützte Abfragegeräte
Canon Focus Demand FR-35 oder Äquivalent, Zoom-Abfrage ZSD-15M II
FUJIFILM Fokus-Abfrage EPD-21A-A01, Zoom-Abfrage ERD-20A-A02
- Das Starten/Anhalten der Aufnahme ist auch mit dem REC-Schalter an dem mit der CBK-DCB01 verbundenen Abfragegerät möglich.
- An die CBK-DCB01 kann die Fernbedienung RM-B170 oder RM-B750 von Sony angeschlossen werden.

Beschränkungen

- Wenn die CBK-DCB01 mit dem Camcorder verbunden wird, sind die Betätigung der Taste PUSH AF und des Schalters FOCUS AUTO/MANUAL am SCL-Z18X140-Motor-Zoomobjektiv und der Zoombetrieb mit den frei belegbaren Tasten am Camcorder nicht möglich.
- Neben den genannten Einschränkungen können auch die folgenden Steuerelemente am Camcorder nicht betätigt werden, wenn eine Fernbedienung an die CBK-DCB01 angeschlossen ist: Schalter GAIN, Schalter WHITE BALANCE, Taste AUTO WHT BAL, Schalter SHUTTER und Taste BARS/CAM.
- Einzelheiten finden Sie in der mit der CBK-DCB01 mitgelieferten Bedienungsanleitung.

Aktualisierung wichtiger Funktionen in V1.4

Verwendbare Medien

XQD-Speicherkarte wurde ergänzt (mit XQD ExpressCard-Adapter QDA-EX1)

Beschränkungen

- Verwenden Sie zur Wiederherstellung von Medien, die mit diesem Gerät aufgezeichnet wurden, auf jeden Fall dieses Gerät. Medien, die mit einem anderen Gerät oder einem Gerät mit einer anderen Version aufgezeichnet wurden (auch wenn es das gleiche Modell ist), werden mit diesem Gerät möglicherweise nicht wiederhergestellt.
- Eine Wiedergabe mit hoher Geschwindigkeit wird möglicherweise nicht ordnungsgemäß erzielt.
- Es können keine Zeitlupenaufnahmen mit der Zeitlupen- und Zeitraffer-Aufnahmefunktion erstellt werden.
- Der einwandfreie Betrieb dieses Camcorders kann nicht für alle XQD-Speicherkarten garantiert werden. Wenden Sie sich für Informationen über kompatible Speicherkarten an Ihren Sony-Händler.

RM-B170

Das Gerät unterstützt die Fernbedienung RM-B170.

Synchro Rec (synchronisierte Aufzeichnung)

Die synchronisierte Aufzeichnung über den Ausgang Dual-Link ist nun auch für die Zeitlupen- und Zeitraffer-Aufzeichnung möglich. Zusätzlich zur Synchronisation der Aufzeichnung kann der Clipname jeweils für die normale bzw. die Zeitlupen- und Zeitraffer-Aufzeichnung angepasst werden. (Hierzu werden die Funktion Synchro Rec und das Ausgangssignal Dual-Link benötigt.)

- Ein Clipname, der On/Off entspricht, auswählbar unter Match Clip Name im Menü VIDEO SET

Beschränkungen

Je nach den geltenden Einschränkungen für Clipnamen beim angeschlossenen Aufnahmegerät ist eine Anpassung des Clipnamens ggf. nicht möglich. Geben Sie einen Clipnamen mit mehr als 4 Zeichen unter Verwendung von Buchstaben und Ziffern im ASCII-Format an. (Leerzeichen und Symbole sind nicht zulässig.)

Gamma-Einstellung

Die S-Log-Gamma-Auswahl wird im Modus Video Gamma als eine der Bildprofileinstellungen verfügbar.

- Die S-Log-Option ist unter Select des Untermenüs Gamma im Menü P.PROFILE SET verfügbar

Beschränkungen

Wenn S-Log im Menü P.PROFILE SET ausgewählt wird, wird die Auswahl von MLUT oder EI MLUT deaktiviert, selbst dann, wenn S-Log LUT im Menü VIDEO SET auf On eingestellt ist.

Zuweisbare Funktionen

Die Funktionen Zoom Tele und Zoom Wide können den Tasten ASSIGN 1 und 2 oder den Tasten ASSIGN 6 und 7 zugewiesen werden.

- Die Optionen Zoom Tele und Zoom Wide sind unter Assign Button <1> oder <6> im Menü OTHER verfügbar

Einstellungen zum Installieren einer Option

Wenn die Option CBK-RGB01 oder CBK-3DL01 installiert wird, können nun auch Buchstaben und Symbole für das Passwort verwendet werden.

Power-Zoom-Objektiv

Der Betriebsbereich des Servo-Zoom lässt sich mit angebrachtem Power-Zoom-Objektiv begrenzen (hierzu ist ein optionales SCL-Z18X140 Power-Zoom-Objektiv erforderlich).

- Je nachdem, ob eine Halterung am Objektiv angebracht ist, ist der Betriebsbereich des Servo-Zoom (Begrenzer) unter Zoom Limit im Menü CAMERA SET auswählbar
- Der Begrenzungsstatus für die Zoompositionsanzeige wird auf dem LCD-Monitor/Sucherbildschirm angezeigt

Aktualisierung wichtiger Funktionen in V1.31

3D-Link

3D-Aufnahmen mit 3D-Link und einem Power-Zoom-Objektiv sind nun möglich (hierzu sind die optionale CBK-3DL01 3D-Link Option, das 3D-Link-Kabel und das SCL-Z18X140 Power-Zoom-Objektiv erforderlich):

- Es gibt jetzt eine Verbindungsfunktion für die Objektivposition (Zoom, Blende und Fokus) am Haupt- und am Zusatzgerät, und zwar entweder kontinuierliche Verbindung oder vorübergehende Verbindung
- Der Blendenversatz ist einstellbar, wenn die Objektive an beiden Geräten zur synchronen Bewegung verbunden sind

Beschränkungen

- Statusanzeigen des Objektivzustands (Zoom, Blende usw.) am Hauptgerät und am Zusatzgerät sind möglicherweise auch dann nicht genau gleich, wenn die Objektivposition der beiden Geräte synchronisiert wurde.
- Wenn Iris Position Sync, Focus Position Sync oder Zoom Position Sync unter 3D-Link im Menü OTHERS für eine kontinuierliche Verbindung auf On eingestellt ist, aktiviert das Drücken der belegbaren Taste, der die entsprechende Verbindungsfunktion zugewiesen ist, nicht die vorübergehende Verbindung. Stellen

Sie die kontinuierliche Verbindungsfunktion auf Off, um die vorübergehende Verbindung zu aktivieren.

- Die Verbindungsfunktion dieses Geräts gewährleistet keine Synchronisation in derselben Phase.

S-Log

S-Log422-Aufnahmen sind nun möglich (hierzu ist die optionale CBK-RGB01 RGB&S-LOG Output Option erforderlich):

- Die Optionen 1.5G YPbPr422 & S-Log und 3G YPbPr422 & S-Log sind unter Dual-Link & Gamma Select des Menüs VIDEO SET verfügbar

Synchro Rec (synchronisierte Aufzeichnung)

Die synchronisierte Aufzeichnung über den Ausgang Dual-Link ist nun auch für die normale Aufzeichnung möglich (hierzu werden die Funktion Synchro Rec und das Ausgangssignal Dual-Link benötigt):

- Die Option Synchro Rec ist unter SDI Rec Control verfügbar

Beschränkungen

Wenn Synchro Rec gestartet wird, während der Ausgang i.Link oder Bild-Cache-Aufzeichnung aktiv ist, oder während der Wiedergabe (einschließlich Rec Review und der Skizzenbilder-Anzeige), wird möglicherweise keine Synchronisation erreicht, oder die Videoaufnahme wird verzerrt.

Manuelles Weitwinkel-Zoomobjektiv

(Hierzu ist ein optionales SCL-P11X15 Weitwinkel-Zoomobjektiv erforderlich.)

Die Statusanzeige zur Überprüfung des Blendenzustands ist nun möglich.

Einstellung MF Assist

Die Standardeinstellung von MF Assist des Menüs CAMERA SET wurde zu Off geändert.

Aktualisierung wichtiger Funktionen in V1.2

3D-Link

3D-Aufnahmen mit 3D-Link sind nun möglich (es werden die optionale CBK-3DL01 3D-Link Option und ein 3D-Link-Kabel benötigt):

- Genlock/TC-Sync
- Synchronisierter Aufnahmebetrieb
- Kopieren von Kameraeinstellungen (von einem Hauptgerät auf ein Zusatzgerät)
- Spezieller Aufnahmebetrieb (Intervallaufzeichnung, Bildaufzeichnung, Zeitlupen- und Zeitraffer-Aufzeichnung)
- Synchronisierter Rec Review auf zwei Camcordern
- Unabhängige Empfindlichkeitseinstellung für jeden ND-Filter zum Beseitigen der Differenz zwischen zwei Geräten

S-Log EI-Modus

Eine S-Log-Aufnahme durch Einstellen der MLUT-Verstärkung ist nun möglich (es ist eine optionale CBK-RGB01 RGB&S-LOG Output Option erforderlich):

- Verstärkungseinstellung im Bereich von 800EI (entspricht 0 dB) bis 3200EI (entspricht 12 dB)
- Sofortiges Ein-/Ausschalten von MLUT durch Zuweisen der Funktion zu einer Taste

Power-Zoom-Objektiv

Die Aufnahme mit verschiedenen effektiven Objektivbetriebsarten mithilfe eines Power-Zoom-Objektivs ist nun möglich (hierzu ist ein optionales SCL-Z18X140 Power-Zoom-Objektiv erforderlich):

- Zoom-Betrieb mithilfe des Servo-Zoom-Hebels und der belegbaren Tasten am PMW-F3 und der Infrarot-Fernbedienung (im Lieferumfang)

- Autofokusbetrieb
- Blendenautomatikbetrieb
- Blendenbedienung über eine externe Steuervorrichtung wie z. B. eine Fernbedienung (Siehe die Ergänzungen, die im Lieferumfang des PMW-F3 enthalten sind.)
- Statusanzeige zur Prüfung des Objektivzustands (Zoom, Fokus, Blende usw.)
- Aufnahmestabilisierungsfunktion

Objektiv mit ARRI-Anschluss

Die Statusanzeige des Objektivzustands (Blende) ist nun möglich. (Siehe „Anbringen eines Objektivs“ in der Bedienungsanleitung.)

Preset White-Einstellungen

Die folgenden Einstellungen sind möglich:

- Weiß-Voreinstellung für die S-Log-Ausgabe (es ist eine optionale CBK-RGB01 RGB&S-LOG Output Option erforderlich).
- Offset-Einstellung (R/B-Kanal) für Weiß-Voreinstellung (3200K)

Menüdurchlauf

Neben dem üblichen Durchlaufverfahren ist jetzt auch ein zyklisches Durchlaufen des Menüs zur Menüauswahl möglich.

Sonstige Statusanzeigen

Die folgenden Auswahlmöglichkeiten sind nun verfügbar:

- Ein-/Ausschalten der Rec 2-Anzeige

MLUT-Daten

Es ist nun möglich, MLUT-Daten zu den üblichen Kameradaten hinzuzufügen und die Kameraeinstellungen sowie die MLUT-Daten kollektiv zu speichern und auszulesen (es ist eine optionale CBK-RGB01 RGB&S-LOG Output Option erforderlich).

Histogrammanzeige

Die Histogrammanzeige (im Sucher gegenüber den früheren Versionen vertikal reduziert) wurde verbessert.

Aktualisierung wichtiger Funktionen in V1.1

Clipnamen

Benutzerdefinierte Zeichen können angezeigt werden (MP4/AVI).

Planungsmetadaten

Die Aufnahme mit Planungsmetadaten ist möglich.

- Planungsmetadaten können von Aufnahmemedien gelesen werden, die in einen Speicherkarteneinschub eingesetzt werden.
- Die zu lesenden Planungsmetadaten können ausgewählt werden.
- Es können Clipnamen gemäß Namen festgelegt werden, die in den Planungsmetadaten definiert sind.
- Clipnamen können in anderen Sprachen als Englisch festgelegt werden.
- Es können mehr Szenenmarkierungen hinzugefügt werden.
- Szenenmarkierungen können in anderen Sprachen als Englisch festgelegt werden.
- Aufnahmeinformationen können in Planungsmetadaten gezeigt werden.
- In den Planungsmetadaten enthaltene Informationen können angesehen werden.

HD SDI A/B-(Dual-Link)-Anschlüsse

- Es können 1.5G YPbPr422 & Video-Signale ausgegeben werden, wenn das Videoformat nicht auf HQ 1920/59.94i oder HQ 1920/50i eingestellt ist.
- Es können 1.5G RGB444 & Video-, 1.5G RGB444 & S-Log-, 3G RGB444 & Video-, 3G RGB444 & S-Log- und 3G YPbPr422 & Video-Signale ausgegeben werden (es ist eine optionale CBK-RGB01 RGB&S-LOG Output Option erforderlich).

S-Log-Gamma und MLUT (Monitor Look Up Table)

S-Log-Gamma und MLUT können verwendet werden, wenn RGB444 für den Dual-Link-Ausgang ausgewählt wird (es ist eine optionale CBK-RGB01 RGB&S-LOG Output Option erforderlich).

TC OUT

Für den Zeitcode, der am Anschluss TC OUT ausgegeben wird, können Auto oder Generator ausgewählt werden.

SDI OUT-Anschluss und HDMI OUT-Anschluss

Unter SDI/HDMI/i.LINK I/O Select kann HD SDI & HDMI oder SD SDI & HDMI i ausgewählt werden, um sowohl SDI- als auch HDMI-Signale zu unterstützen.

Drehknopf S&Q

Der Drehknopf S&Q kann auf dieselbe Weise bedient werden wie der Jog-Dial.

Skizzenbilder-Betrieb

Der Cursor kann vertikal über die Skizzenbilderansicht bewegt werden.

Einstellen des Bildes auf dem LCD-Monitor/EVF-Bildschirm

Wenn LCD/VF Adjust einer belegbaren Taste zugewiesen wird, können Kontrast und Helligkeit des LCD-Monitor/EVF-Bildschirms eingestellt werden, indem die entsprechende Pegelleiste aufgerufen wird und dann die belegbare Taste und der Jog-Dial zur Einstellung benutzt werden.

Statusbildschirm VIDEO

Das Ausgangsformat Dual-Link wird auf dem Statusbildschirm VIDEO angezeigt.

Die Bild-Cache-Aufzeichnung

Wenn die Aufzeichnung im Bild-Cache-Modus (Bild-Cache-Zeit: 13 bis 15 Sekunden) mit i.LINK-Ausgabe durchgeführt wurde, wurden die Daten im Cache-Speicher manchmal nicht aufgezeichnet. Dieses Problem wurde behoben.

SDI/HDMI/i.LINK I/O Select

Es wurden gelegentlich keine HDMI-Signale ausgegeben, wenn die Einstellung für SDI/HDMI/i.LINK I/O Select von HD SDI, SD SDI auf SD HDMI i (in dieser Reihenfolge) umgeändert wurde. Dieses Problem wurde behoben.

Version Up

Die Verlaufsmeldung und das Menü wurden bisweilen gleichzeitig angezeigt, wenn Version Up ausgeführt wurde, während ein i.LINK-Signal eingespeist wurde. Dieses Problem wurde behoben.

Skin Tone Detail

Die Area Detection-Markierung verschwand bisweilen, wenn die Taste DISPLAY/BATT INFO gedrückt wurde. Dieses Problem wurde behoben.

Anschließen des CBK-WA01

Durch das Anbringen eines optionalen CBK-WA01 Wi-Fi-Adapters am Camcorder können auf einem Computer erstellte Planungsmetadaten an den Camcorder gesendet werden, ebenso wie Einstellungen für Namen von Clips, die aufgezeichnet werden sollen, und Szenenmarkierungen für die Aufnahme (es ist eine optionale CBK-RGB01 RGB&S-LOG Output Option erforderlich).

Beschränkungen

Falls die Aufzeichnung sofort nach dem Start des Geräts gestartet wird, wird dem Starten der Aufzeichnung eine höhere Priorität gegeben als dem Zeigen von Planungsmetadaten. Aus diesem

Grund werden Planungsmetadaten manchmal eventuell nicht in der Aufzeichnung gezeigt, auch wenn sie gelesen werden.

Italiano

Nota di rilascio

Funzioni principali aggiornate con V1.45

Decoder richiesta CBK-DCB01

La funzione di messa a fuoco/zoom presente nei dispositivi di richiesta messa a fuoco/zoom disponibili in commercio è disponibile grazie al Decoder richiesta CBK-DCB01.

- Dispositivi richiesta supportati
 - Canon Focus Demand FR-35 o dispositivi equivalenti, Zoom Demand ZSD-15M II
 - FUJIFILM Focus Demand EPD-21A-A01, Zoom Demand ERD-20A-A02
- Grazie all'interruttore REC è inoltre possibile avviare/arrestare la registrazione sul dispositivo di richiesta collegato al CBK-DCB01.
- Al CBK-DCB01 è possibile collegare le unità di controllo remoto Sony RM-B170 o RM-B750.

Restrizioni

- Quando il CBK-DCB01 è connesso alla videocamera, non è consentito il funzionamento del pulsante PUSH AF e dell'interruttore FOCUS AUTO/MANUAL sull'obiettivo con zoom motorizzato SCL-Z18X140 e l'operazione di zoom con pulsanti assegnabili sulla videocamera.
- In aggiunta alle limitazioni sopra indicate, i seguenti controlli della videocamera non sono funzionanti quando un'unità di controllo remoto viene connessa a CBK-DCB01: all'interruttore GAIN, all'interruttore WHITE BALANCE, al pulsante AUTO WHT BAL, all'interruttore SHUTTER e al pulsante BARS/CAM.
- Per dettagli, fare riferimento alle istruzioni di funzionamento fornite con il CBK-DCB01.

Funzioni principali aggiornate con V1.4

Supporto utilizzabile

Serie di schede di memoria XQD aggiunta (con adattatore ExpressCard XQD QDA-EX1)

Restrizioni

- Per il ripristino dei supporti registrati con questa unità, accertarsi di utilizzare l'unità stessa. I supporti registrati con dispositivi diversi da questa unità o con un'unità di versione diversa (anche se dello stesso modello) non possono essere ripristinati tramite questa unità.
- Potrebbe non essere possibile raggiungere correttamente la riproduzione ad alta velocità.
- Non è possibile effettuare la registrazione in modalità rallentatore utilizzando la funzione di registrazione in modalità rallentatore e movimento rapido.
- Non è garantito che tutte le schede di memoria XQD funzionino con questa videocamera. Per schede di memoria compatibili, contattare il rivenditore Sony.

RM-B170

L'unità supporta l'unità di controllo remoto RM-B170.

Synchro Rec (registrazione sincronizzata)

La registrazione sincronizzata tramite l'uscita Dual-Link è abilitata per la registrazione in modalità rallentatore e movimento rapido. Oltre alla sincronizzazione della registrazione, il nome del clip può essere fatto corrispondere per la registrazione normale o per la registrazione in modalità rallentatore e movimento rapido (è

richiesto un dispositivo di registrazione che supporti Synchro Rec e i segnali di uscita Dual-Link).

- Un nome di clip corrispondente, selezionabile On/Off in Match Clip Name del menu VIDEO SET

Restrizioni

È possibile che il nome di un clip non corrisponda, in funzione delle limitazioni al nome del clip del dispositivo di registrazione connesso. Specificare per il clip un nome di lunghezza superiore a 4 caratteri alfanumerici in formato ASCII. Non sono consentiti spazi e simboli.

Impostazioni gamma

La selezione della gamma S-Log diventa disponibile nella modalità Video Gamma come una delle impostazioni del profilo immagine.

- Opzione S-Log disponibile sotto Select in Gamma nel menu P.PROFILE SET

Restrizioni

Quando S-Log è selezionato nel menu P.PROFILE SET, il MLUT o EI MLUT selezionato è disabilitato, anche se S-Log LUT nel menu VIDEO SET è impostato su On.

Operazioni programmabili

Le operazioni Zoom Tele e Zoom Wide possono essere assegnate ai pulsanti ASSIGN 1 e 2 o ai pulsanti ASSIGN 6 e 7.

- Opzioni Zoom Tele e Zoom Wide disponibili in Assign Button <1> o <6> nel menu OTHER

Impostazioni per l'installazione di un'opzione

Aggiunta la possibilità di utilizzare caratteri alfabetici e simboli per specificare una password quando si installa l'opzione CBK-RGB01 o CBK-3DL01.

Obiettivo zoom motorizzato

Quando l'obiettivo zoom è installato, la gamma operativa del servo zoom potrà essere limitata (è necessario l'obiettivo zoom motorizzato SCL-Z18X140 opzionale).

- Gamma operativa selezionabile del servo zoom (limitatore), in funzione dell'installazione o meno di un fermo sull'obiettivo, in Zoom Limit nel menu CAMERA SET
- Stato del limitatore visualizzato per l'indicazione della posizione dello zoom sullo schermo del monitor/mirino LCD

Funzioni principali aggiornate con V1.31

3D-Link

È possibile la ripresa 3D con 3D-Link e un obiettivo zoom motorizzato (sono richiesti il componente opzionale CBK-3DL01 3D-Link Option, cavo 3D-Link e obiettivo zoom motorizzato SCL-Z18X140):

- Funzione di collegamento della posizione dell'obiettivo (zoom, diaframma e messa a fuoco) sull'unità principale e secondaria, collegamento costante o collegamento temporaneo abilitati
- Offset diaframma regolabile quando gli obiettivi su entrambe le unità sono collegati per spostarsi in sincrono

Restrizioni

- L'indicazione di stato della condizione dell'obiettivo (zoom, diaframma, ecc.) sull'unità principale e quella sull'unità secondaria può non essere la stessa anche dopo aver sincronizzato le posizioni dell'obiettivo su entrambe le unità.
- Se Iris Position Sync, Focus Position Sync o Zoom Position Sync in 3D-Link del menu OTHERS è impostato su On per il collegamento costante, la pressione del tasto programmabile a cui è assegnata la funzione di collegamento corrispondente non attiva il collegamento temporaneo. Impostare la funzione

di collegamento costante su Off per attivare il collegamento temporaneo.

- La funzione di collegamento di questa unità non garantisce la sincronizzazione nella stessa fase.

S-Log

È possibile la ripresa S-Log422 (è richiesto il componente opzionale CBK-RGB01 RGB&S-LOG Output Option):

- Opzioni 1.5G YPbPr422 & S-Log e 3G YPbPr422 & S-Log disponibili in Dual-Link & Gamma Select del menu VIDEO SET

Synchro Rec (registrazione sincronizzata)

La registrazione sincronizzata tramite l'uscita Dual-Link è consentita per la registrazione normale (è richiesto un dispositivo di registrazione che supporti Synchro Rec i segnali di uscita Dual-Link):

- Opzione Synchro Rec in SDI Rec Control disponibile

Restrizioni

Se Synchro Rec è avviata quando l'uscita i.Link o la registrazione cache immagini è attiva, oppure durante la riproduzione (compresi Rec Review e visualizzazione miniature), è possibile non ottenere la sincronizzazione della registrazione oppure può verificarsi distorsione della registrazione video.

Teleobiettivo manuale grandangolo

(È richiesto un teleobiettivo grandangolo SCL-P11X15).

Indicazione di stato per osservare la condizione obiettivo abilitata.

Impostazione MF Assist

L'impostazione predefinita per MF Assist del menu CAMERA SET è stata modificata su Off.

Funzioni principali aggiornate con V1.2

3D-Link

È possibile la ripresa 3D con 3D-Link (è richiesto il componente opzionale CBK-3DL01 3D-Link Option e il cavo 3D-Link):

- Sinc Genlock/TC
- Funzione di registrazione in sincronizzazione
- Copia (da un'unità principale a una secondaria) delle impostazioni della telecamera
- Funzioni di registrazione speciali (Registrazione a intervalli, Registrazione per fotogrammi, Registrazione in modalità rallentatore e movimento rapido)
- Rec Review sincronizzata su due telecamere
- Regolazione sensibilità indipendente per ciascun filtro ND per eliminare la differenza tra due unità

Modo S-Log EI

È possibile la ripresa S-Log tramite regolazione del guadagno MLUT (è richiesto il componente opzionale CBK-RGB01 RGB&S-LOG Output Option):

- Regolazione del guadagno nell'intervallo tra 800EI (equivalente a 0 dB) e 3200EI (equivalente a 12 dB)
- Attivazione/disattivazione istantanea di MLUT tramite assegnazione della funzione a un pulsante

Obiettivo zoom motorizzato

È possibile la ripresa con varie funzionalità dell'obiettivo tramite un obiettivo zoom motorizzato (è richiesto un obiettivo zoom motorizzato opzionale SCL-Z18X140):

- Funzionamento dello zoom tramite la leva per zoom motorizzato e pulsanti programmabili su PMW-F3 e telecomando a infrarossi (in dotazione)
- Funzione messa a fuoco automatica
- Funzione diaframma automatico

- Operazioni con il diaframma da un dispositivo di controllo esterno, come un telecomando (Consultare il Supplemento fornito con PMW-F3.)
- Indicazione di stato per osservare le condizioni dell'obiettivo (zoom, messa a fuoco, diaframma, ecc.)
- Funzione stabilizzazione ripresa

Obiettivo con connettore ARRI

Indicazione di stato della condizione obiettivo (diaframma) abilitata. (Consultare "Inserimento di un obiettivo" nelle Istruzioni per l'uso.)

Regolazioni Preset White

Sono consentite le seguenti regolazioni:

- Regolazione del bianco predefinito per uscite S-Log (è richiesto il componente opzionale CBK-RGB01 RGB&S-LOG Output Option).
- Regolazione Offset (canali R/B) per bianco predefinito (3200K)

Scorrimento menu

Oltre al metodo di scorrimento convenzionale, è possibile selezionare i menu tramite scorrimento ciclico.

Altre indicazioni di stato

Sono disponibili le selezioni seguenti:

- Attivazione/disattivazione indicazione Rec 2

Dati MLUT

È possibile aggiungere dati MLUT ai dati convenzionali della telecamera, sono consentite memorizzazione collettiva e lettura delle impostazioni della telecamera e dati MLUT (è richiesto il componente opzionale CBK-RGB01 RGB&S-LOG Output Option).

Indicazione istogramma

L'indicazione istogramma (ridotta verticalmente nel mirino con le versioni precedenti) è migliorata.

Funzioni principali aggiornate con V1.1

Nomi dei clip

È possibile visualizzare caratteri specificati dall'utente (MP4/AVI).

Metadata di pianificazione

È possibile riprendere con metadata di pianificazione.

- È possibile leggere i metadata di pianificazione da un supporto di registrazione inserito in uno slot per schede di memoria.
- È possibile selezionare i metadata di pianificazione da leggere.
- È possibile specificare nomi di clip basati su nomi definiti nei metadata di pianificazione.
- È possibile specificare i nomi dei clip in lingue diverse dall'inglese.
- È possibile aggiungere più indicatori di ripresa.
- È possibile specificare i nomi degli indicatori di ripresa in lingue diverse dall'inglese.
- È possibile riflettere le informazioni di registrazione sui metadata di pianificazione.
- È possibile visualizzare le informazioni contenute nei metadata di pianificazione.

Connettori HD SDI A/B (Dual-Link)

- L'uscita può emettere segnali 1.5G YPbPr422 & Video se il formato video non è impostato su HQ 1920/59.94i o HQ 1920/50i.
- L'uscita può emettere segnali 1.5G RGB444 & Video, 1.5G RGB444 & S-Log, 3G RGB444 & Video, 3G RGB444 & S-Log e 3G YPbPr422 & Video (è richiesto il componente opzionale CBK-RGB01 RGB&S-LOG Output Option).

Gamma S-Log e MLUT (Monitor Look Up Table)

È possibile utilizzare la gamma S-Log e MLUT quando si seleziona RGB444 per l'uscita Dual-Link (è richiesto il componente opzionale CBK-RGB01 RGB&S-LOG Output Option).

TC OUT

È possibile selezionare Auto o Generator per il codice temporale da emettere dal connettore TC OUT.

Connettore SDI OUT e connettore HDMI OUT

È possibile selezionare HD SDI & HDMI o SD SDI & HDMI i in SDI/HDMI/i.LINK I/O Select per il supporto dell'emissione contemporanea dei segnali SDI e HDMI.

Comando S&Q

È possibile utilizzare il comando S&Q analogamente al comando jog.

Operazioni con le miniature

È possibile spostare il cursore verticalmente sulla schermata delle miniature.

Regolazione dell'immagine sul monitor LCD/schermo EVF

Se si assegna LCD/VF Adjust a un tasto programmabile, contrasto e luminosità del monitor LCD/schermo EVF possono essere regolati visualizzando la barra di livello corrispondente e utilizzando il tasto programmabile e il comando jog.

Schermata di stato VIDEO

Il formato dell'uscita Dual-Link viene visualizzato sulla schermata di stato VIDEO.

Registrazione picture cache

Quando la registrazione è stata effettuata in modalità picture cache (tempo di picture cache: da 13 a 15 secondi) con trasmissione i.LINK, i dati cache nella memoria a volte non sono stati registrati. Il problema è stato risolto.

SDI/HDMI/i.LINK I/O Select

I segnali HDMI a volte non venivano emessi se l'impostazione SDI/HDMI/i.LINK I/O Select era stata modificata nell'ordine HD SDI, SD SDI a SD HDMI i. Il problema è stato corretto.

Version Up

Il messaggio di avanzamento e il menu a volte venivano visualizzati contemporaneamente se Version Up veniva eseguito durante l'immissione di un segnale i.LINK. Il problema è stato corretto.

Skin Tone Detail

Il contrassegno Area Detection a volte scompariva quando si premeva il tasto DISPLAY/BATT INFO. Il problema è stato corretto.

Connessione al CBK-WA01

Il montaggio di un adattatore Wi-Fi CBK-WA01 opzionale sulla videocamera consente di inviare i metadata di pianificazione creati su computer alla videocamera, oltre a impostare nomi di clip da riprendere e indicatori di ripresa per la ripresa (è richiesto il componente opzionale CBK-RGB01 RGB&S-LOG Output Option).

Restrizioni

Se la registrazione è cominciata immediatamente dopo l'avvio dell'unità, viene data maggiore priorità all'avvio della registrazione rispetto al riflesso dei metadata di pianificazione. Per questo motivo, durante la lettura dei metadata di pianificazione, questi possono a volte non essere riflessi nella registrazione.

Español

Nota de la versión

Funciones principales actualizadas con la V1.45

Caja de conversión de órdenes CBK-DCB01

La caja de conversión de órdenes CBK-DCB01 (opcional) permite realizar operaciones de enfoque/zoom con dispositivos de orden de enfoque/orden de zoom disponibles en el mercado.

- Dispositivos de orden compatibles
Orden de enfoque Canon FR-35 o equivalente, orden de zoom ZSD-15M II
Orden de enfoque FUJIFILM EPD-21A-A01, orden de zoom ERD-20A-A02
- El interruptor REC del dispositivo de orden conectado al CBK-DCB01 también permite iniciar o detener la grabación.
- La unidad de control remoto Sony RM-B170 o RM-B750 puede conectarse a la unidad CBK-DCB01.

Restricciones

- Cuando la unidad CBK-DCB01 está conectada a la videocámara, no es posible utilizar el botón PUSH AF ni el interruptor FOCUS AUTO/MANUAL del objetivo con zoom automático SCL-Z18X140 y tampoco utilizar el zoom con los botones asignables de esta videocámara.
- Además de la restricción anterior, los siguientes controles de la videocámara dejan de estar disponibles si se conecta una unidad de control remoto a la unidad CBK-DCB01: interruptor GAIN, interruptor WHITE BALANCE, botón AUTO WHT BAL, interruptor SHUTTER y botón BARS/CAM.
- Para obtener más información, consulte las instrucciones suministradas con la unidad CBK-DCB01.

Funciones principales actualizadas con la V1.4

Soportes aceptados

Incorporación de tarjetas de memoria de la serie XQD (con Adaptador XQD ExpressCard QDA-EX1)

Restricciones

- Asegúrese de utilizar esta unidad para restaurar los soportes grabados con ella. Es posible que los soportes grabados con un dispositivo que no sea esta unidad o con una unidad de versión diferente (incluso del mismo modelo) no se restauren mediante esta unidad.
- Es posible que no pueda reproducirse a alta velocidad.
- No es posible realizar grabaciones a cámara lenta a través de la función de grabación con movimiento a cámara lenta y rápida.
- No se garantiza el funcionamiento de esta videocámara con todas las tarjetas de memoria XQD. Para saber cuáles son las tarjetas de memoria compatibles, póngase en contacto con su distribuidor Sony.

RM-B170

La unidad es compatible con la unidad de control remoto RM-B170.

Synchro Rec (grabación sincronizada)

Es posible la grabación sincronizada a través de la salida Dual-Link para la grabación con movimiento a cámara lenta y rápida. Además de la sincronización de la grabación, es posible hacer coincidir el nombre del clip para la grabación normal o la grabación con movimiento a cámara lenta y rápida. (Requiere un dispositivo de grabación compatible con Synchro Rec y las señales de salida Dual-Link.)

- Selección On/Off para hacer coincidir el nombre del clip en la opción Match Clip Name del menú VIDEO SET

Restricciones

Es posible que no se pueda hacer coincidir el nombre de clip, en función de las restricciones del dispositivo de grabación conectado relativas al nombre del clip. Especifique un nombre de clip con más de 4 caracteres, utilizando caracteres alfanuméricos en formato ASCII. (No está permitido utilizar espacios ni símbolos.)

Configuración de gamma

La selección de la gamma S-Log está ahora disponible en el modo Video Gamma como uno de los ajustes de perfil de la imagen.

- Opción S-Log disponible en Select de la opción Gamma, en el menú P. PROFILE SET

Restricciones

Si se selecciona S-Log en el menú P.PROFILE SET, el MLUT o El MLUT seleccionado queda desactivado, aunque la opción S-Log LUT del menú VIDEO SET esté ajustada en On.

Operaciones asignables

Las operaciones de Zoom Tele y Zoom Wide pueden asignarse a los botones ASSIGN 1 y 2 o a los botones ASSIGN 6 y 7.

- Opciones Zoom Tele y Zoom Wide disponibles en Assign Button <1> o <6> del menú OTHER

Configuración para la instalación de una opción

Posibilidad de utilizar letras y símbolos para especificar una contraseña al instalar la opción CBK-RGB01 o CBK-3DL01.

Objetivo de zoom automático

El rango operativo del zoom automático puede limitarse si se instala el objetivo de zoom automático (se necesita el objetivo de zoom automático SCL-Z18X140 opcional).

- Rango operativo del zoom automático (limitador) seleccionable, en función de si el objetivo incorpora un tope o no, en la opción Zoom Limit del menú CAMERA SET
- Visualización del estado del limitador en la indicación de la posición del zoom, en el monitor LCD o la pantalla del visor

Funciones principales actualizadas con la V1.31

3D-Link

Grabación en 3D con 3D-Link y un objetivo de zoom automático (requiere CBK-3DL01 3D-Link Option opcional, cable 3D-Link y objetivo de zoom automático SCL-Z18X140):

- Función de conexión de la posición del objetivo (zoom, diafragma y enfoque) en la unidad principal y la unidad secundaria, con conexión constante o conexión temporal.
- Compensación del diafragma ajustable si los objetivos de las dos unidades tienen el movimiento sincronizado.

Restricciones

- Las indicaciones de estado de la posición del objetivo (zoom, diafragma, etc.) en la unidad principal y en la unidad secundaria tal vez no coincidan aunque se hayan sincronizado las posiciones del objetivo en las dos unidades.
- Si Iris Position Sync, Focus Position Sync o Zoom Position Sync en la opción 3D-Link del menú OTHERS está ajustado en On para conexión constante, aunque pulse el botón asignable al que está asignada la función de conexión correspondiente, no se activará la conexión temporal. Ajuste la función de conexión constante en Off para activar la conexión temporal.
- La función de conexión de esta unidad no garantiza la sincronización en la misma fase.

S-Log

Grabación S-Log422 (requiere la CBK-RGB01 RGB&S-LOG Output Option opcional):

- Opciones 1.5G YPbPr422 & S-Log y 3G YPbPr422 & S-Log disponibles en la opción Dual-Link & Gamma Select del menú VIDEO SET

Synchro Rec (grabación sincronizada)

Grabación sincronizada a través de la salida Dual-Link posible en la grabación normal (requiere un dispositivo de grabación compatible con Synchro Rec y las señales de salida Dual-Link):

- Opción Synchro Rec de SDI Rec Control disponible.

Restricciones

Si se inicia Synchro Rec y la salida i.Link o la grabación en la memoria caché de imágenes está activa, o durante la reproducción (lo que incluye Rec Review y la visualización de miniaturas), es posible que no pueda grabarse de forma sincronizada o que la grabación de vídeo esté distorsionada.

Objetivo de zoom manual de gran angular

(Requiere un objetivo de zoom de gran angular SCL-P11X15 opcional.)

Indicación de estado con información sobre la posición del objetivo.

Configuración de MF Assist

La configuración predeterminada de MF Assist en el menú CAMERA SET es ahora Off.

Funciones principales actualizadas con la V1.2

3D-Link

Posibilidad de grabar en 3D con 3D-Link (se requieren la CBK-3DL01 3D-Link Option opcional y el cable 3D-Link):

- Generador de sincronismo/sincronización TC
- Operación de grabación en sincronización
- Copia (de una unidad principal a una secundaria) de ajustes de la cámara
- Funciones de grabación especiales (Grabación a intervalos, Grabación de fotogramas, Grabación con movimiento a cámara lenta y rápida)
- Rec Review sincronizada en dos videocámaras
- Ajuste de sensibilidad independiente para cada filtro ND para eliminar diferencias entre dos unidades

Modo S-Log EI

Posibilidad de realizar grabaciones S-Log mediante el ajuste de la ganancia de MLUT (se requiere la CBK-RGB01 RGB&S-LOG Output Option opcional):

- Ajuste de ganancia en el intervalo de 800EI (equivalente a 0 dB) a 3200EI (equivalente a 12 dB)
- Activación/desactivación instantánea de MLUT mediante la asignación de la función a un botón

Objetivo de zoom automático

Posibilidad de grabación con varias operaciones con el objetivo mediante un objetivo de zoom automático (requiere un objetivo de zoom automático SCL-Z18X140 opcional):

- Funcionamiento del zoom mediante la palanca de zoom automático y botones asignables en el PMW-F3 y el mando a distancia por infrarrojos (suministrado)
- Funcionamiento de enfoque automático
- Funcionamiento de diafragma automático
- Funcionamiento del diafragma desde un dispositivo de control externo, como una unidad de control remoto (Consulte el Suplemento suministrado con el PMW-F3.)

- Indicación de estado para observar las condiciones del objetivo (zoom, enfoque, diafragma, etc.)
- Función captura fija

Objetivo con el conector ARRI

Indicación de estado de la condición del objetivo (diafragma). (Consulte "Colocación de un objetivo" en el Manual de instrucciones.)

Ajustes de Preset White

Incorporación de los siguientes ajustes:

- Ajuste de blancos predeterminados para las salidas S-Log (se requiere la CBK-RGB01 RGB&S-LOG Output Option opcional).
- Ajuste de Offset (canales R/B) para blancos predeterminados (3200K)

Desplazamiento por los menús

Además del método de desplazamiento convencional, se ha incluido el desplazamiento cíclico en la selección de menús.

Otras indicaciones de estado

Hay disponibles las siguientes selecciones:

- Activación/desactivación de la indicación Rec 2

Datos MLUT

Incorporación de los datos MLUT a los datos de la cámara convencionales, almacenaje colectivo y lectura de los ajustes de la cámara y los datos MLUT (se requiere la CBK-RGB01 RGB&S-LOG Output Option opcional).

Indicación de histograma

Mejora de la indicación de histograma (con reducción vertical en el visor en las versiones anteriores).

Funciones principales actualizadas con la V1.1

Nombres de clips

Pueden visualizarse caracteres especificados por el usuario (MP4/AVI).

Metadatos de planificación

Es posible filmar con metadatos de planificación.

- Los metadatos de planificación pueden leerse desde soportes de grabación insertados en una ranura para tarjetas de memoria.
- Pueden seleccionarse los metadatos de planificación que van a leerse.
- Pueden especificarse los nombres de clips basados en nombres definidos en los metadatos de planificación.
- Los nombres de clips pueden especificarse en idiomas distintos al inglés.
- Pueden añadirse más marcas de filmación.
- Los nombres de marcas de filmación pueden especificarse en idiomas distintos al inglés.
- La información de grabación puede reflejarse en los metadatos de planificación.
- Puede verse la información contenida en los metadatos de planificación.

Conectores HD SDI A/B (Dual-Link)

- Pueden emitirse señales 1.5G YPbPr422 & Video si el formato de vídeo no está ajustado en HQ 1920/59.94i o HQ 1920/50i.
- Pueden emitirse señales 1.5G RGB444 & Video, 1.5G RGB444 & S-Log, 3G RGB444 & Video, 3G RGB444 & S-Log y 3G YPbPr422 & Video (se requiere la CBK-RGB01 RGB&S-LOG Output Option opcional).

Gamma S-Log y MLUT (Monitor Look Up Table-Tabla de búsqueda de monitor)

Puede utilizarse gamma S-Log y MLUT si la opción RGB444 está seleccionada para la salida Dual-Link (se requiere la CBK-RGB01 RGB&S-LOG Output Option opcional).

TC OUT

Pueden seleccionarse las opciones Auto o Generator para utilizar el conector TC OUT como salida del código de tiempo.

Conector SDI OUT y conector HDMI OUT

Puede seleccionar HD SDI & HDMI o SD SDI & HDMI i en SDI/HDMI/i.LINK I/O Select para permitir la salida simultánea de las señales SDI y HDMI.

Control S&Q

El control S&Q funciona de la misma forma que el control de jog.

Funcionamiento de las miniaturas

El cursor puede moverse verticalmente en la pantalla de miniaturas.

Ajuste de la imagen en la pantalla del monitor LCD/EVF

Si LCD/VF Adjust está asociado a un botón asignable, el contraste y el brillo de la pantalla del monitor LCD/EVF pueden ajustarse mostrando la barra de nivel correspondiente y utilizando el botón asignable y el control de jog.

Pantalla de estado VIDEO

El formato de salida Dual-Link se muestra en la pantalla de estado VIDEO.

Grabación de la memoria caché de imágenes

Cuando la grabación se realizaba en el modo de memoria caché de imágenes (tiempo de memoria caché: de 13 a 15 segundos) con salida i.LINK, los datos de la memoria caché a veces no se grababan. Este problema ya está solucionado.

SDI/HDMI/i.LINK I/O Select

A veces no se emitían las señales HDMI cuando se modificaba el ajuste SDI/HDMI/i.LINK I/O Select en el orden HD SDI - SD SDI - SD HDMI i. Se ha corregido este problema.

Version Up

A veces aparecían simultáneamente el mensaje de operación en curso y el menú al realizar la operación Version Up mientras se recibía una señal i.LINK. Se ha corregido este problema.

Skin Tone Detail

A veces desaparecía el marcador Area Detection al pulsar el botón DISPLAY/BATT INFO. Se ha corregido este problema.

Conexión de CBK-WA01

La instalación de un adaptador Wi-Fi CBK-WA01 opcional en la videocámara permite enviar metadatos de planificación creados en un ordenador a la videocámara, así como definir nombres de clips o marcas de filmación para grabaciones (se requiere la CBK-RGB01 RGB&S-LOG Output Option opcional).

Restricciones

Si la grabación se inicia inmediatamente después de iniciar la unidad, se da más prioridad a iniciar la grabación que a reflejar los metadatos de planificación. Por este motivo, aunque se estén leyendo los metadatos de planificación, puede que en ocasiones no se reflejen en la grabación.

中文

发行通知

V1.45更新的主要功能

CBK-DCB01按需转换盒

使用CBK-DCB01按需转换盒（选购），市售聚焦/变焦按需装置可进行聚焦/变焦操作。

- 支持的按需装置
 - Canon Focus Demand FR-35或同类产品，Zoom Demand ZSD-15M II
 - FUJIFILM Focus Demand EPD-21A-A01，Zoom Demand ERD-20A-A02
- 同时，还可使用连接至CBK-DCB01的按需装置上的REC开关开启/关闭录制。
- Sony RM-B170或RM-B750遥控装置可连接至CBK-DCB01。

限制

- 当CBK-DCB01连接至摄像录像机上时，SCL-Z18X140电动变焦镜头上的PUSH AF按钮与FOCUS AUTO/MANUAL开关操作以及该摄像录像机上指定按钮的变焦操作不可用。
- 除上述限制外，当CBK-DCB01上连接有遥控装置时，摄像录像机上的以下控制按钮无效：GAIN开关、WHITE BALANCE开关、AUTO WHT BAL按钮、SHUTTER开关以及BARS/CAM按钮。
- 更多详情，请参考CBK-DCB01随机提供的使用手册。

V1.4更新的主要功能

可使用的媒体

兼容XQD存储卡系列（使用XQD ExpressCard适配器QDA-EX1）

限制

- 若要恢复用本机录制的存储卡，请务必使用本机。以除本机以外的设备或不同版本的另一台装置（即使型号相同）录制的存储卡，无法使用本机恢复。
- 可能无法正常进行高速播放。
- 无法使用慢动作&快动作录制功能进行慢速动态录制。
- 不保证所有XQD存储卡都能在本机中正常运行。对于兼容的存储卡信息，请联系Sony经销商。

RM-B170

本机支持遥控装置RM-B170。

同期拍摄（同步记录）

慢动作&快动作记录功能启用了通过双链接输出的同步记录。除了同步记录以外，片段名称可与一般或慢动作&快动作记录相匹配。（需要支持同期拍摄和双链接输出信号的记录设备。）

- 在视频设定菜单的匹配片段名下面可选择片段名匹配的On/Off。

限制

视所连接记录设备的片段名限制而定，可能无法匹配片段名。使用ASCII格式的字母和数字指定4个字符以上的片段名。（不允许使用空格和符号。）

伽马设定

S-Log伽马选择作为视频伽马模式中的一个图像说明文件设定可供选择。

- 在图像参数设定菜单的伽马中的选择项目中带有S-Log选项。

限制

在图像参数设定菜单中选择了S-Log时，即使将视频设定菜单中的S-Log LUT设定为On，选定的MLUT或将EI MLUT也将被禁用。

可分配的操作

可将变焦长焦和变焦广角操作分配到ASSIGN 1和2或ASSIGN 6 和 7按钮。

- 可在其它设定菜单中的自定义按钮<1>或<6>的下面找到变焦长焦和变焦广角选项。

安装选件的设定

在安装选件CBK-RGB01或CBK-3DL01时新增了用于指定密码的字母和符号。

电动变焦镜头

装上电动变焦镜头后可限制伺服变焦的操作范围（需要安装选购的SCL-Z18X140电动变焦镜头）。

- 根据镜头上是否安装了固定器而定，可在摄像机设定菜单的变焦限制下面选择伺服变焦（限制器）的操作范围
- 在LCD显示屏/取景器画面中将显示变焦位置显示的限制器状态

V1.31更新的主要功能

3D-Link

可进行具有3D-Link的3D拍摄以及可使用电动变焦镜头（需要选购CBK-3DL01 3D-Link选件、3D-Link电缆和SCL-Z18X140电动变焦镜头）：

- 可使用主摄像机和副摄像机上镜头位置（变焦、光圈和对焦）的关联功能，包括固定链接或临时链接
- 光圈偏置可在主摄像机和副摄像机上的镜头同步联动时进行调节

限制

- 即使已将主摄像机和副摄像机上的镜头位置同步后，主副摄像机上镜头情况（变焦、光圈等）的状态指示灯也可能不相同。
- 如果将其它设定菜单中3D-Link下的光圈位置同期、聚焦位置同期或变焦位置同期设定为On进行固定链接，按下指定了相应链接功能的可指定按钮不会启动临时链接。将固定链接功能设定为Off可启动临时链接。
- 本机的链接功能不确保在相同相位中的同步。

S-Log

可进行S-Log422拍摄（需要选购CBK-RGB01 RGB/S-LOG输出选件）：

- 1.5G YPbPr422 & S-Log和3G YPbPr422 & S-Log选项在视频设定菜单的双链接时的输出选择下

同期拍摄（同步记录）

可通过双链接输出的同步记录进行一般记录（需要支持同期拍摄和双链接输出信号的记录设备）：

- 同期拍摄选项在SDI录制控制下

限制

在启用i.Link输出或图像缓存记录时，或在播放（包括录制预览和缩略图显示）期间，如果开始同期拍摄，可能无法达到录制同步，或可能出现视频录制失真。

广角手动变焦镜头

（需要选购SCL-P11X15广角变焦镜头。）
可使用观察镜头情况的状态指示灯。

MF协助设定

摄像机设定菜单中MF协助的默认设定已变为Off。

V1.2更新的主要功能

3D-Link

可进行具有3D-Link的3D拍摄（需要选购CBK-3DL01 3D-LINK选件和3D-Link电缆）：

- 强制同步/TC同步
- 录制操作同步
- 复制（从主摄像机至副摄像机）摄像机的设置
- 特殊录制操作（间隔记录、逐帧记录、慢动作&快动作记录）
- 在两台摄像机上同步化录制预览
- 分别对每个ND滤镜进行感光度调节以消除两台设备间的差异

S-Log EI模式

可通过调节MLUT增益进行S-Log拍摄（需要选购CBK-RGB01 RGB/S-LOG输出选件）：

- 800EI（相当于0 dB）至3200EI（相当于12 dB）范围内的增益调节
- 通过将功能分配至按钮立即开启/关闭MLUT

电动变焦镜头

可通过电动变焦镜头使用各种有效镜头操作进行拍摄（需要选购SCL-Z18X140电动变焦镜头）：

- 使用PMW-F3上的伺服变焦杆和可分配按钮以及红外遥控器（附带）进行变焦操作
- 自动对焦操作
- 自动光圈操作
- 通过外部控制设备（如遥控装置）进行光圈操作（请参阅随PMW-F3附带的附录。）
- 用于观察镜头情况（变焦、对焦、光圈等）的状态指示
- 手振补偿功能

带有ARRI接口的镜头

启用镜头情况（光圈）的状态指示。（请参阅使用说明书中的“安装镜头”。）

色温预设调节

将启用以下调节：

- S-Log输出的色温预设调节（需要选购CBK-RGB01 RGB/S-LOG输出选件。）
- 色温预设（3200K）的Offset调节（R/B通道）

菜单滚动

除了传统的滚动方式以外，还可启用循环滚动进行菜单选择。

其它状态指示

以下选择将会有效：

- Rec 2指示的开启/关闭

MLUT数据

通过将MLUT数据添加至常规摄像机数据，可进行摄像机设置和MLUT数据的集体存储和读取（需要选购CBK-RGB01 RGB/S-LOG输出选件）。

直方图指示

直方图指示（以前版本的取景器中垂直方向较低）得到改善。

V1.1更新的主要功能

片段名称

可显示用户指定字符 (MP4/AVI)。

计划元数据

可通过计划元数据进行拍摄。

- 可通过插入存储卡插槽的记录介质读取计划元数据。
- 可选择要读取的计划元数据。
- 可根据计划元数据所定义的名称指定片段名称。
- 可使用非英语语言指定片段名称。
- 可添加更多拍摄标记。
- 可使用非英语语言指定拍摄标记名称。
- 可在计划元数据中反映拍摄信息。
- 可查看计划元数据所包含的信息。

HD SDI A/B (双链接) 接口

- 如果视频格式未设定为HQ 1920/59.94i或HQ 1920/50i, 输出可以是1.5G YPbPr422 & Video信号。
- 输出可以是1.5G RGB444 & Video、1.5G RGB444 & S-Log、3G RGB444 & Video、3G RGB444 & S-Log和3G YPbPr422 & Video信号。(需要选购CBK-RGB01 RGB/S-LOG输出选件。)

S-Log伽玛和MLUT (显示屏查找表)

当选择RGB444用于双链接输出时, 可以使用S-Log伽玛和MLUT。(需要选购CBK-RGB01 RGB/S-LOG输出选件。)

TC OUT

可以选择自动和发生器用于从TC OUT接口输出的时间代码。

SDI OUT接口和HDMI OUT接口

可以在SDI/HDMI/i.LINK I/O切换下选择HD SDI & HDMI或SD SDI & HDMI i以支持同时输出SDI和HDMI信号。

S&Q拨盘

S&Q拨盘的操作方法与慢速拨盘相同。

缩略图操作

在缩略图画面上可以垂直移动光标。

在LCD监视器/EVF屏幕上调节图像

如果LCD/VF调节被指定到可指定按钮, 通过显示对应的级别条以及使用可指定按钮和慢速拨盘, 可以调节LCD监视器/EVF屏幕的对比度和亮度。

VIDEO状态画面

双链接输出格式显示在VIDEO状态画面上。

图像缓存记录

当通过i.LINK输出在图像缓存模式(图像缓存时间: 13至15秒)中进行记录时, 有时不记录存储器中的缓存数据。该问题已得到修正。

SDI/HDMI/i.LINK I/O切换

当SDI/HDMI/i.LINK I/O切换设定以HD SDI、SD SDI、SD HDMI i顺序切换时, 有时候无法输出HDMI信号。此问题已得到解决。

版本升级

如果输入i.LINK信号和版本升级同时执行, 有时候会同时显示进度信息和菜单。此问题已得到解决。

肤色细节

当按DISPLAY/BATT INFO按钮时, 有时候区域检测标记会消失。此问题已得到解决。

连接CBK-WA01

通过在摄像机上安装选购的CBK-WA01 Wi-Fi适配器, 可以将电脑上创建的计划元数据发送到摄像机, 以及设定要拍摄片段的名称和用于拍摄的拍摄标记。(需要选购CBK-RGB01 RGB/S-LOG输出选件。)

限制

如果在本机启动后立即开始记录, 开始记录比反映计划元数据具有更高的优先级。因此, 即使正在读取计划元数据, 有时也可能不会在记录中反映。